



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 2 一般国道 340 号「土淵バイパス」全線開通
- 4 いわて花巻空港 名古屋線 搭乗者数 20 万人に！
- 5 優良工事 26 件を表彰
- 7 二級河川閉伊川水門の仮締切工事安全祈願祭開催
- 8 大船渡市小細浦地区 防災集団移転住宅団地竣工式開催！
- 9 県職員を志す皆さんに県土整備部を紹介
- 10 「復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラム in 岩手」開催のご案内

2014年

1月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 114 号
平成 26 年 1 月 29 日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

一般国道 340 号「土淵バイパス」全線開通！

～ 東日本大震災からの復興を加速させる復興支援道路の開通 ～

平成 25 年 12 月 25 日に、「一般国道 340 号土淵バイパス開通式」が、遠野市で開催されました。

当日の朝は厳しい冷え込みとなりましたが、式典中は天候に恵まれ、本田遠野市長、遠藤県南広域振興局長、工藤勝子県議会議員をはじめ、多くの行政及び工事関係者が出席し、主催者による式辞、来賓祝辞等が執り行われました。

また、現地セレモニーには遠野かっぱ工事隊も参加し、テープカット、くす玉開披、万歳三唱に続き、道路パトロールカーを先頭にパレードが行われ、土淵バイパスはめでたく全線開通となりました。

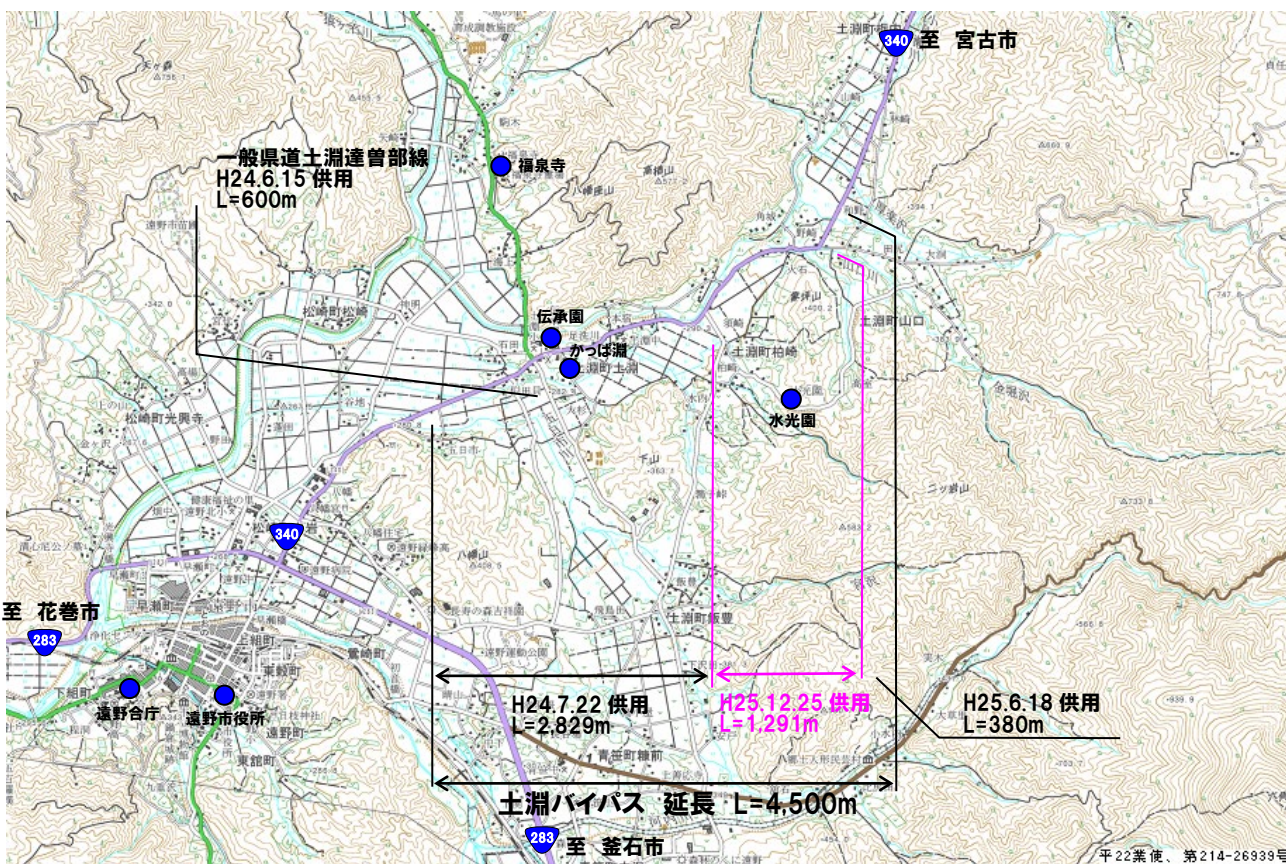


一般国道340号「土淵バイパス」全線開通

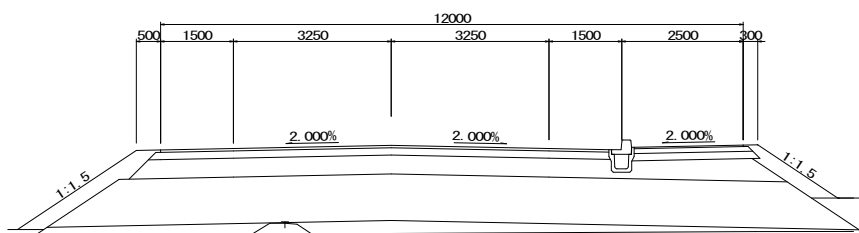
～ 東日本大震災からの復興を加速させる復興支援道路の開通 ～

遠野土木センター
道路建設課

平成25年12月25日に、「一般国道340号土淵バイパス」が、全線開通しました。平成19年に事業に着手し、平成24年には、遠野側の約2.8kmの区間及び一般県道土淵達曽部線の土淵バイパスまで延長された区間の供用がなされ、全線開通が心待ちにされているところでしたが、事業開始から7年の歳月をかけて土淵バイパス全区間を供用することができました。



標準断面図



路線名：一般国道340号
 区間：遠野市土淵町土淵
 ～遠野市土淵町栃内
 延長：L=4500m
 幅員：W=6.5(12.0)m
 設計速度：V=60km/h

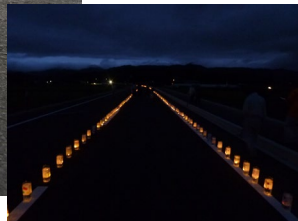
【開通までの取り組み】

地域の方々及び地元遠野市との協議を経て、土淵バイパスの愛称を「遠野かっぱロード」と決定したほか、平成24年7月の一部開通の事前広報として、遠野かっぱ工事隊との開通PRキャラバン、遠野かっぱロードフェスティバル、前夜祭「2000個の灯籠で描く光の道」など、多くの取り組みを行なってきました。

H24.6.21 キャラバン隊の知事表敬

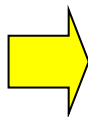


H24.7.21 一部開通式の前夜祭

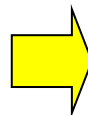


【開通による効果】

起点部：道路幅員が広がるとともに、自転車歩行者道が設置され、伝承園やかっぱ淵に向う観光客の安全性も確保されました。



バイパス部：現道沿線では、大型車のすれ違いが困難でしたが、バイパスの開通により交通の分散が図られました。



今回開通した「土淵バイパス」は、内陸部から三陸沿岸地域の各都市等にアクセスする道路（横断軸）を南北に連絡する道路として、県が復興支援道路として位置付けた国道340号の一部区間であり、東日本大震災津波により被災した沿岸地域の一日も早い復興の支援に必ずつながるものと期待しています。

いわて花巻空港 名古屋線 搭乗者20万人に！

～平成23年5月の就航から2年半で達成～

空港課

平成26年1月4日、株式会社フジドリームエアラインズ（FDA）による名古屋線が搭乗者数20万人を達成しました。当日は、いわて花巻空港の到着ロビーで該当便の搭乗者全員に記念品が贈られたほか、20万人目となった花巻市の中学生に飛行機の模型セットや花束が贈呈されました。

名古屋線は東日本大震災津波により甚大な被害を受けた東北地方の復興支援の一環として、FDAが平成23年5月21日に運航を開始し、平成25年5月には就航2周年となりました。平成25年上期ダイヤでは1日3往復を運航し、下期ダイヤでは1日2往復に減便となりましたが、先に発表された平成26年上期ダイヤでは、1日3往復へ増便することが決定しています。

県では、今後も路線の定着と更なる利用促進に向けて取り組んでいきます。



今年3月から1日3往復への
増便が決定！
中部・東海方面へお越しの際は
ぜひご利用ください。

優良工事26件を表彰

～ 優良県営建設工事表彰・優良下請負企業表彰 ～

建設技術振興課

平成 25 年 12 月 25 日、盛岡地区合同庁舎で平成 25 年度「優良県営建設工事表彰」と「優良下請負企業表彰」を行い、千葉茂樹副知事から表彰状と記念品の伝達を行いました。

「優良県営建設工事表彰」は、建設業の健全な発展とその施工技術の向上に資することを目的として、昭和 57 年度から実施しているもので、今回で 32 回目となります。

今回は、平成 24 年度に完成した、請負額 1,000 万円以上で、かつ工事成績評点 85 点以上の県営建設工事を審査対象とし、各工事発注公所等からの推薦を受けて、優良県営建設工事表彰審査会（庁内委員と外部有識者で構成）において審査され、「総合的に工事成績が良好で他の模範となる県営建設工事」と認められた **20 社 26 工事**が受賞企業として選定されました。

「優良下請負企業表彰」は、県内建設業者の施工技術の向上による公共工事の品質確保及び健全な元請下請関係の構築を目的として、平成 21 年度から実施しているもので、今回で 5 回目となります。

審査対象は、「優良県営建設工事表彰」の対象工事を施工し、今年度の受賞企業として内定した元請負企業から推薦のあった下請負企業です。庁内審査及び優良県営建設工事表彰審査会における審査を経て、**9 社 7 工事**が受賞企業として選定されました。

表彰式には、受賞企業の担当者のほか、工事発注公所等の担当者も多数出席し、受賞企業の業績をたたえました。



知事式辞（千葉副知事代読）



受賞者代表による謝辞



記念撮影（優良県営建設工事表彰受賞者）



記念撮影（優良下請負企業表彰受賞者）

【受賞企業・工事一覧】

部門	請負業者	優良下請負企業	表彰工事名
土木	青葉建設(株)		一般県道夏油温泉江釣子線広表橋橋梁補修(防護柵)工事
土木	宇部建設(株)	(株)近江建設	一般国道284号清水尻地区道路改良(災害復旧)工事
土木	(株)小田島組		経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区 第8号工事
土木	(株)小田島組		主要地方道大船渡広田陸前高田線雲南地区道路災害復旧(23災646号)工事
土木	(株)小田島組		主要地方道盛岡横手線八ツ又地区道路改良工事
土木	(株)小原建設	(株)丸重	一級河川和賀川筋新山地区河川災害復旧(23災442号)工事
土木	(株)かばら建設	(有)タイチ工業	一般国道340号立丸地区道路改良その1工事
土木	(株)佐々木組		ため池等整備事業八幡沢地区第2号工事
土木	(有)多田建設		一級河川猿ヶ石川筋沢田地区河川改良工事
土木	樋下建設(株)		一級河川南川筋三本柳地区護岸工その2工事
土木	(株)中村建設		二級河川津軽石川筋本町の沢地区2号砂防えん堤工事
土木	(株)平野組	(有)タイチ工業	ため池等整備事業須川地区第3号工事
土木	(株)戸来建設		農業用河川工作物応急対策事業台堰地区 第3号工事
土木	横屋建設(株)		長内沢筋長内地区溪流保全工工事
舗装	岩手建工(株)		一般国道107号和賀仙人地区他舗装等工事
舗装	ACサカモト(株)		畑地帯総合整備事業(担い手育成型)東奥中山地区第34号工事
舗装	(株)小山建設	岩手ニチレキ(株)	一般国道284号千厩地区道路舗装補修工事
舗装	(株)佐々木組		一般国道284号真滝地区(その4)道路舗装工事
舗装	(株)丹野組		都市計画道路荒瀬上田面線船場地区街路整備(その4)工事
法面処理	(株)小田島組		市道津谷川線苜萱地区道路改良工事(2工区)工事
法面処理	(株)平野組		一般国道342号茂庭沢地区道路法面防災(その2)工事
法面処理	(株)山長建設		一級町道小鎚線高清水地区道路災害復旧(23災573号その2)工事
塗装	(株)大久保建設		一般国道396号乙部館橋橋梁補修工事
鋼工作物	(株)中央コーポレーション		一般国道107号向山スノーシェルター更新工事
建築一式	(株)高光建設	アキヤマ工業(株) (有)カワショウ (有)袴田硝子店	北上川上流流域下水道都南浄化センター管理本館他外装更新(建築)工事
建築一式	(株)高光建設	(有)岩佐鉄筋工業所 (有)白樺建設	やさわの園改築(建築)工事

二級河川閉伊川水門の仮締切工事 安全祈願祭を開催

～ 閉伊川水門の関連工事がいよいよ着工 ～

河川課

【安全祈願祭】

平成25年12月27日、宮古市臨港通において「二級河川閉伊川筋藤原地区河川災害復旧左岸仮締切工事及び浚渫工事」の安全祈願祭が開催されました。

本工事は、閉伊川に新たに整備を予定している「閉伊川水門」の工事に先立ち、必要な工事ヤードを確保するための仮締切と、工事期間中の洪水の流下断面を確保するための浚渫を行なうものです。閉伊川水門に関係する工事としては、初めての工事着工となります。

安全祈願祭には、施工業者、市、県、国等の関係者約30名が出席し、鍬入れや玉串奉てんなどの神事が行なわれました。

施工業者の大坂建設株式会社が「水門本体工事の安全を確保するため、無事故で施工したい」と決意を述べられました。



神事の様子



市長あいさつ

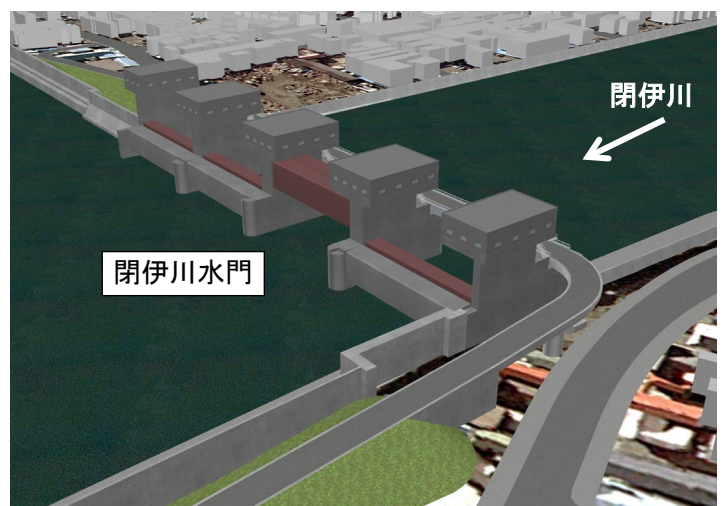
【閉伊川水門の概要】

閉伊川は、チリ地震津波(S35)を契機として、高さ T.P.5.26m の河川堤防が昭和 41 年までに完成していました。

しかし、東日本大震災により河川堤防は全区間に渡って沈下するとともに、津波が越流して背後の市街地に流れ込み、大きな被害が発生しました。

東日本大震災の被災を受け、平成 29 年度までに、高さ T.P.10.4m の水門を閉伊川に整備することとしています。

(※今回安全祈願祭を行なったのは、閉伊川水門を工事するために必要な仮締切工事です。)



完成時のイメージ図

(※概略設計時のものであり、詳細は変更になる可能性があります。)

【おわりに】

今回の安全祈願祭を弾みとして、安全に工事が進められ、一日でも早く完成することを目指し、宮古市など関係機関との連携を図りながら復興事業に取り組んでいきます。

大船渡市 小細浦地区

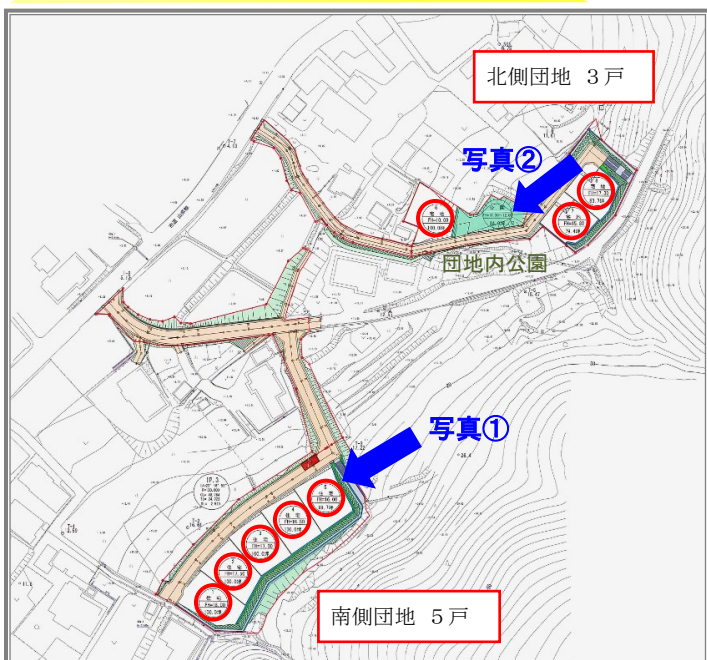
防災集団移転住宅団地 竣工式典開催！

平成 26 年 1 月 14 日、大船渡市末崎町『小細浦地区』において市内初となる「防災集団移転促進事業」の竣工式が執り行われました。竣工式には発注機関をはじめとした行政機関のほか、用地提供に御協力頂いた地権者や移転予定者も参加し工事の完成を祝いました。小細浦地区では 8 戸の移転団地が整備され、団地内には地域の集いの場として公園も併せて整備されました。

大船渡市では 21 地区で 392 戸の防災集団移転促進事業が計画され、現在 9 地区で工事に着手済みとなっており、平成 25 年度内には合計 5 地区の団地にて造成工事が完了となる見込みです。



● 小細浦団地 概要図及び完成写真



県職員を志す皆さんに県土整備部を紹介

岩手県庁オープンセミナー2014を通じて

県土整備企画室

平成 25 年 12 月 26 日、県では、平成 26 年度岩手県職員及び警察官の採用試験の受験希望者を対象に、県庁の事業内容等を情報提供し、県政への理解や志望意欲を高めることなどを目的に、「岩手県庁オープンセミナー2014」を開催しました。

当日は、約 180 名が参加し、達増知事からの熱いメッセージに続き、県全体のしくみと試験概要の説明が行われた後、各職種のコーナーが設けられ、参加者が訪問する形で進められました。

県土整備部からは、土木職コーナーを県土整備企画室の松本技師が、建築コーナーを建築住宅課の昆野技師が担当し、「業務の内容」や「民間との違い」、「仕事を通じたやりがい」などについて紹介し、参加学生からの質疑に対応しました。

各コーナーの参加者からは、「震災からの復興の進捗状況は？」、「復興需要はいつまで続くのか？」、「都市計画にどのくらい関われるのか？」、「震災後の業務量はどのくらい増えたか？」など、復興事業を中心とした様々な視点からの質問があり、関心の高さが伺われました。

高い志を有する多くの方々が採用試験を受験し、震災からの復旧・復興をはじめ、「いわてを支える基盤の実現」に向けて一緒に取り組める日を楽しみにしています。



土木職コーナーで参加者の質問に対応する松本技師



建築職コーナーで参加者の質問に対応する昆野技師



他の職種コーナーの様子

『復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラムin岩手』開催のご案内

県土整備企画室・建設技術振興課

県土整備部では、「復興加速年」の取組を総括するとともに、本格復興に向けて情報共有・情報発信することを目的に、2月6日～7日の2日間、『復興県土づくりシンポジウム・東北復興フォーラムin岩手』を開催します。

本県の復旧・復興のために、都府県市・団体等からの多くの応援職員に奮闘して頂いていますが、本シンポジウムでは、応援職員の皆様からも本県における取組状況を発表して頂く予定です。

【日程表】

【場所】エスポワールいわて（盛岡市中央通一丁目1-38）

月日	時間	発表論題等	発表者		
			所属	氏名	備考
2月6日 (木)	10:00～10:30	受付			
	10:30～10:40	知事あいさつ			
	10:40～10:45	連絡事項（注意事項等）			
	10:45～11:10	住宅復興についての取組	建築住宅課	主査 山口 誉尊	応援職員（静岡県）
	11:10～11:35	釜石港復旧における工程調整について	沿岸広域振興局土木部	主査 八木 秀幸	応援職員（静岡県）
	11:35～12:00	河川海岸災害復旧報告及び復興への取組について	沿岸広域振興局土木部	技師 岩本 祐生	応援職員（東京都）
	12:00～13:00	昼休み			
	13:00～13:25	大阪府職員から見た復興事業への戸惑いと取組課題について	沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター	主査 富山 久男 技師 川端 義一 技師 上田 久志	応援職員（大阪府）
	13:25～13:50	高田地区海岸の津波対策施設の復旧について	沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター	主任 石本 雄大 技師 中島 正登	応援職員（大阪府）
	13:50～14:15	講演「被災3県の復興の取組と課題」	岩手県県土整備部	部長 佐藤 悟	
	14:15～14:40		宮城県土木部	部長 遠藤 信哉	
	14:40～15:05		福島県土木部	部長 渡辺 宏喜	
	15:05～15:20	休憩			
	15:20～16:50	<p>◆応援職員によるトークセッション◆ ～助っ人たちが語る岩手・復興への熱い想い～</p> <p>司会進行：ふじポン 現応援職員 ・建築住宅課 技師 高橋竜太（川崎市） ・沿岸広域振興局土木部宮古土木センター 主査 福沢 義之（長野県） ・沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 主査 八尾 信彦（大阪府）</p> <p>元応援職員 ・愛知県建設部建設企画課 主査 松浦元彦（都市計画課） ・静岡県交通基盤部土木防災課 主査 山本 庸介（沿岸広域振興局土木部） ・大阪府枚方土木事務所維持管理課 主査 伊藤 克幸（沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター）</p> <p>・県土整備部長 佐藤 悟</p>			

月日	時間	発表論題等	発表者		
			所属	氏名	備考
2月7日 (金)	9:30～9:55	宮古地区の海岸保全施設の復旧における液状化対策について	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	主査 石川 英俊	
	9:55～10:20	一般国道106号宮古西道路の事業計画について	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	主任 熊谷 利明	
	10:20～10:45	復興交付金 主要地方道重茂半島線の取組について	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	技師 佐藤 直	
	10:45～10:55	休憩			
	10:55～11:25	都市計画道路水沢駅内匠田線道路改良工事について	奥州市都市整備部	主任技師 小野 仁志	平成24年度全建受賞報告
	11:25～11:50	小本地区の復旧・復興事業計画について	沿岸広域振興局土木部 岩泉土木センター	小田島 源	
	11:50～12:00	講評	県土整備部 建設技術振興課	技術企画指導課長 桐野 敬	
		閉会			

お問合せは、県土整備部県土整備企画室（019-629-5846）まで御連絡下さい。